

関数とグラフを使ったレポート作成

前回の課題で合計を計算する作業を行った。(教科書 pp.110,120)

今回は各種の関数や計算式を利用したレポートの作成を行う。

課題 1.

前回の提出課題「おにぎり販売計画」の合計部分をもとに、以下の要点を漏れなくそれぞれ実行し、結果を印刷して提出せよ。

1. 教科書 pp.120 の説明に基づいて SUM 関数を用いて計算し直してみよ。縦横の合計セルに関数を入力するには、教科書 pp.116 にあるオートフィル（フィルハンドル）機能が利用できることを試せ。逐一手で計算式などを繰り返して入力するのはタイプミスなどを防ぐ意味からも行わないこと。

(前年合計と今年の合計を足すような意味のないことをしないように。)

2. 次に教科書 pp.122 を参照して、これに平均を加える。右図の上半分のようになるだろう。(数値や並び順は各自で適当に入力しているだろうから、サンプルとは一致しないが気にしない)
3. 続いて、図の下半分にあるように、売上数ではなく品種ごとの全体に対するパーセンテージを示す表を作成せよ。具体的には例えば上図の C17 セル (C 列の 17 行目) には計算式として「=C5/C9」を指定すればよい。その計算結果である 0.3576 などの数字を 36% などの形式にするには pp.128 を参照。D17 から G17 セルに計算式を入力するにもオートフィル機能が利用できる。

(C17 セルの内容をオートフィル機能を使って C18 セルに移した場合、意図しない計算結果が現れるだろう。原因と解決法は教科書 pp.154 以降にあるが、次週、またはそれ以降の実習で扱うので、今は気にしない。)

縦横の合計欄にどのような計算式を与えれば意味のある表になるかは各自で考えること。言われた通りに数字を並べるパズルをやっているのではなく、意味のある統計分析の訓練をしていることを忘れずに。なお、サンプルの C21、D21 セルは手作業で「-」記号を入力している。

4. 教科書 pp.130 を参照して、下半分のパーセンテージの表には罫線をつける。また、横軸の項目見出しは中央揃え (pp.114)、タイトルは大きな文字を設定して体裁を整え、印刷する。罫線のつけ方はサンプルのとおりにならなくて良いので、各自で見やすいと思える体裁に加工する。必要なら教科書 pp.136 などを参考に行を挿入・追加するなどせよ。

おにぎり名	昨年	目標個数	1日目	2日目	合計
註	482	500	250	300	550
おかか	253	300	110	98	208
梅干し	292	350	100	150	250
ツナマヨ	321	350	200	250	450
合計	1,348	1,500	660	798	1,458
平均	337	375	165	200	365

おにぎり名	昨年	目標個数	1日目	2日目	合計
註	36%	33%	38%	38%	38%
おかか	19%	20%	17%	12%	14%
梅干し	22%	23%	15%	19%	17%
ツナマヨ	24%	23%	30%	31%	31%
合計	-	-	45%	55%	100%

前回の提出課題を手元に保存していない者はコンピュータ  にある Report Folder

ReportFolder (¥¥wnf#cifs2)

(X:)

 からたどって、「販売計画見本 2」と名づけられた Excel ワークシートを利用せよ。

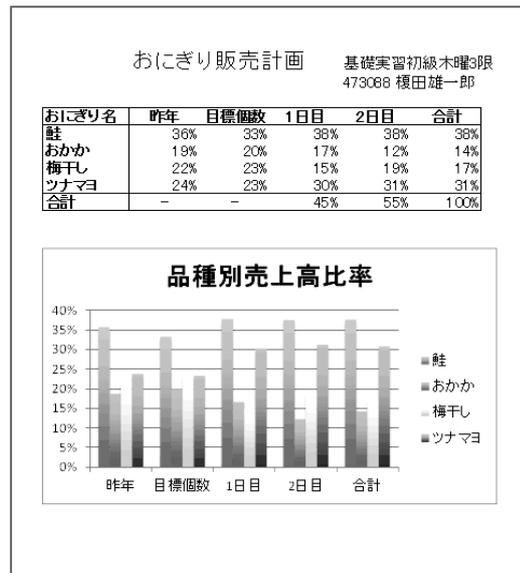
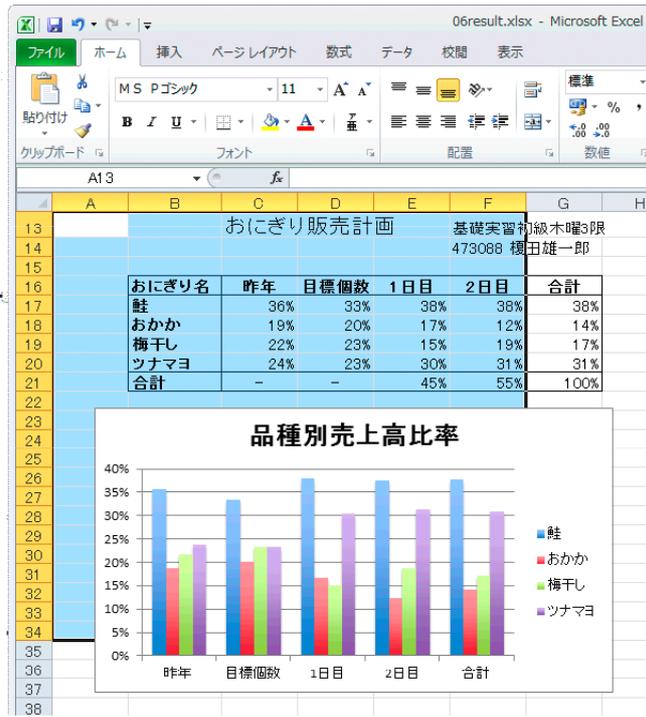
課題 2.

教科書 pp.138 からを参考に、グラフをつけて印刷、提出せよ。グラフの種類は問わない。自分が見やすいと思う形態のものでよい。サンプルは意図的に良くない形式のグラフを出しているのので、これを改善するつもりで作ること。

印刷するときには、以下の手順に従って印刷範囲を必要な部分に限定し、不要な部分を印刷しないこと。

1. 右図のように、印刷したい範囲をドラッグして選択する。(右図はドラッグの途中なので実際には全部囲むつもりで)
2. 「ページレイアウト」メニューの「印刷範囲」の中にある「印刷範囲の設定」を選択する。選択していたセル範囲の周囲に点線で枠が付き、これが印刷範囲となる。
3. 念のために印刷前に「ファイル」メニューの「印刷」の画面右側に出る印刷プレビューを確認し、意図した範囲だけが 1 ページ内にうまく収まっているかどうかを確認する。問題なければ印刷ボタンをクリックして印刷。

最終的には右図のような結果が印刷できるように。グラフの見出し位置や、横軸、タイトルの文字サイズなどは全て調整可能なので、みばえのよいように体裁を整えること。



課題 2.までできた受講生のうち、前回の課題 (右) が未提出であればそれを提出すること。

都道府県別土地利用			
473088 榎田雄一郎			
	民有地面積 (平成21年1月1日) (km ²)	宅地	%
北海道	27,528	1,023	3.7%
東北	29,452	1,924	6.5%
関東	17,973	4,021	22.4%
東海	26,862	3,374	12.6%
近畿	14,395	2,131	14.8%
中国	16,179	1,203	7.4%
四国	9,300	624	6.7%
九州	19,710	2,090	10.6%
沖縄	1,053	134	12.7%
合計	162,452	16,524	10.2%

統計局・日本の統計・第1章国土・気象 表1-7 都道府県別土地利用 から作成